

働き方の行方 2013

博士号を持つバングラデシュ出身のエルフと低く、人材の受け皿は不十分だ。ポストドクは六月、中央発明研究所浜松TSC(浜松市南区)への就職を決めた。博士号を取得してから二年。静岡大、四十代以上も13%電子工学研究所(同)を占める。

ハミッドさんは韓国市中区)で学術研究員として勤める「ポスの大学で修士を取得トドクター(ポスト後、〇八年に来日。一ク」だった。雇用の一年に博士課程を修了期限が七月末に迫っていた。リーマン・ショックもなく第一子も誕生する。「もし就職が決まっていなかったら、国に帰っていたかもしれない」と振り返る。

ポストドクは、大学などの常勤ポストに就く前の「修業期間」に当たるが、博士課程修了者が増加する一方で、大学の教員採用者は若干名と狭き門。文部科学省の調査では、ポストドク経験者を毎年採用を行う研究開発型の

高度知識 受け皿狭く



ポストドク就職難

企業だ。ハミッドさんは化学製品の製造、製品の取引先への配達や顧客とのコミュニケーションを経験。「研究室と違って、新しい仕事ばかりで分からないことが多かった」と話す。国際競争の激化につ

中央発明研究所の採用が決まり、研究所長から仕事を教わるハミッドさん(左)と濱松市南区で

り組んだことが評価された。同社が将来的に南アジアへの進出を検討しているため、就業体験終了とともに正式採用が決定。同センターの支援制度で企業への就職を決めた「第一号」にもなった。

長は「日本は資源の重要性が高まっている。高度な人材を育てる。大学院で高度な知識を身に付けた人材は、民間の受け皿を広くおかない。ただ、同社が力を入れている。社長の「博たない」と力を込める。博士号取得者の年齢や学歴を考えると、ある程度は必要。その分、期待が外れた時のリスクを考えると、博士号取得者が急速に増えている。日本の科学技術レベルが国際的に低下する懸念もある。産学官が一層連携しての地位を高めていく。日本の方向性にも重要な役割を担っている。確実な副学(白山泉、写真も)を担っている。

ポストドクター(ポストドク)は、博士号取得後、大学や研究機関の研究業務に就いている非常勤の研究員。政府は1996年に科学技術基本計画を閣議決定し、若手研究者養成のため、ポストドクを1万人にする計画を打ち出した。現在、全国で1万5000人以上、県内は約1600人に上る。昨年、ノーベル医学・生理学賞を受賞した山中伸弥、京都大教授のiPS細胞研究所では約8割以上のポストドクが研究現場で科学技術の発展を支えている。「研究者の競争を促す仕組みとしては有効」という意見もある。